

8 解体作業(建築物、構造物、石綿含有製品等)

【関連する職種(一般の呼称)】	
とび、ハツリ工、鉄筋工、解体工、鍛冶工	アスベスト除去作業
建設重機オペレータ、ガス溶断、スクラップ解体	現場監督、雑役
【石綿製品(代表的な2, 3)】	
石綿吹付け材	石綿含有ボード(外壁材・内装材)
石綿含有屋根材	石綿保温材・煙突材



A 側面からのビル解体作業。吹きつけ材、内外装材、煙突などの建材や空調のダクトパッキング、配管エルボ等は解体前に石綿含有無の調査が義務づけられ、重機作業の前に石綿製品を除去してから解体しますが、以前はそのまま解体されていました。



B 屋上に重機を乗せてからのビル解体作業。解体建物の外周部にはその階より高くシートを張ります。建材に石綿が含有している場合には、建材の破碎により現場の作業員が石綿粉じんにはばく露する可能性があります。



C スレートの屋根・壁のある倉庫の解体作業。粉じんの飛散防止のため、散水しながら作業をする必要があります。



D 天井の石綿セメント板(フレキシブル板)をパールで破壊し、かき集めているところ。破碎に伴い、粉じんが舞っています。



E 石油精製工場のプラント老朽化による解体工事。手順としては、石綿断熱材などの有害物質が飛散ないように、シートで覆った空間の中で撤去してから、重機で解体します。



F 多量の石綿製品が使われていた工場などの解体で、重機を使用するのは石綿ばく露の面から大変危険です。保温材が重機で押しつぶされて雪のように白くなって散乱しています。

8 解体作業-2



A 立体駐車場の解体作業。内部に耐火被覆吹きつけがあり、外壁は石綿含有ボードが使用されていました。解体には順序があり、まずは有害な石綿含有部分の撤去からです。



C 民家の解体。以前は、石綿含有屋根材や外壁の石綿含有サイディング材等を事前に取り除くことなく、まとめて解体していました。解体時に発生する石綿含有粉じんにはばく露した可能性があります。



E プラント屋内の装置解体風景。高度成長期に新設された装置類(石綿保温材を多用)が更新の時期を迎えています。解体・除去時にばく露する可能性があります。



G パールを使用して天井のフレキシブル板を破碎しているところです。フレキシブル板に石綿が含有している場合に、作業者がばく露する可能性があります。



B ビル解体現場



D 煙突解体現場



F 高熱のかかる炉などの保温材は傷みが早く定期的に修理(全取替えなど)を行います。石綿含有の保温材は軽く、破損すると飛散しやすいので非常に危険です。



H 解体作業には石綿含有建材からのばく露の危険を伴います。今後、解体や改修工事は、建物の耐震化促進や老朽化した設備機器の取替えなど、相当数になることが予想されます。